

室内はかなりのシックなイメージというか走りには徹したイメージだけで、助手席にはオリジナルカラーをつけて雰囲気を変えないように取り付けられたナビゲーションなどシムフルの中にも凝った作り



室内



スピードメーターはオリジナルの340km/hフルスケール、タコメーターはオートゲージ製を取り付けている



シートはダットサンバケットを2脚でタカタの4点式。旧車らしいイメージはやはりS30には抜群に似合う



前後のブレーキ配分をコントロールするPバルブも



バッテリーはこの車両は必然的に!?エンジンルームには置かずに、トランクルームに配置する。きちんと安定した性能を発揮する一般的なMFタイプバッテリー



トランクルーム

リヤゲートを開けるとストラットケースに直に取り付けられた補強パイプ、そしてロールバーと安全タンクやコレクタータンクなど、ただならぬ雰囲気がある

3連メーターはHKS製の油圧・油温・水温計で下にはブースト計、Fコンを装着していることからただならぬことがお分かりでしょう



“普通じゃない”フェアレディZ

ストラット自体を強靱に止めている足回りを支えるのは特注のアラコスタ。全車において実績のある一流メーカーを使っているのもこの車両のすごいところ



御車特有のあつげなく掛かる感覚で、アクセルを煽らなくても良いし、コツも全く入らない。暖気を済ませてクラッチを踏んで繋ぐとこれまたあつげない感じ。クラッチは少々重いけどつながりもとても自然でノーマルとはいかないけど、わかりやすいのでエンストすることも無いし、渋滞でも苦痛にならないレベルの踏み力で操作できる。排気量が340もあるという先入観からかトルクも増大と思っただけ、



ロッキーオート 渡辺社長

旧車業界の第一人者と言っていいほど行動力に溢れ、業界からの信頼も高いロッキーオート渡辺社長。もちろんお客さんからの信頼も高く、一度ロッキーオートから車を購入するとその後も何台も購入していく(増車ね)人も多い。製作したクルマも必ず渡辺社長が乗ってチェックするという。「G-ワークスのイメージにぴったりなS30があるから是非乗ってください」と渡辺社長直々にオファーがあり、岡崎に行ってきました♪



S30・RB26改搭載フェアレディZ

車のカッコよさは写真を見ればある程度はわかるけど、走りはエンジンの仕様や足回りを見て想像するしかない…まあそれはそれで楽しいんだけど、さらに具体的に乗り味が知りたい!!という人に向けて、難しい言葉は一切使わず乗ったままの印象を伝えるこのコーナー「石川編集長の乗ってみなきゃわかんねーゾ」コーナー!!前回に引き続き今回もロッキーオートのフェアレディZを紹介していこう!

まあとにかく凄いなマシンだったけど…どう凄いかはこれから説明していきます♪

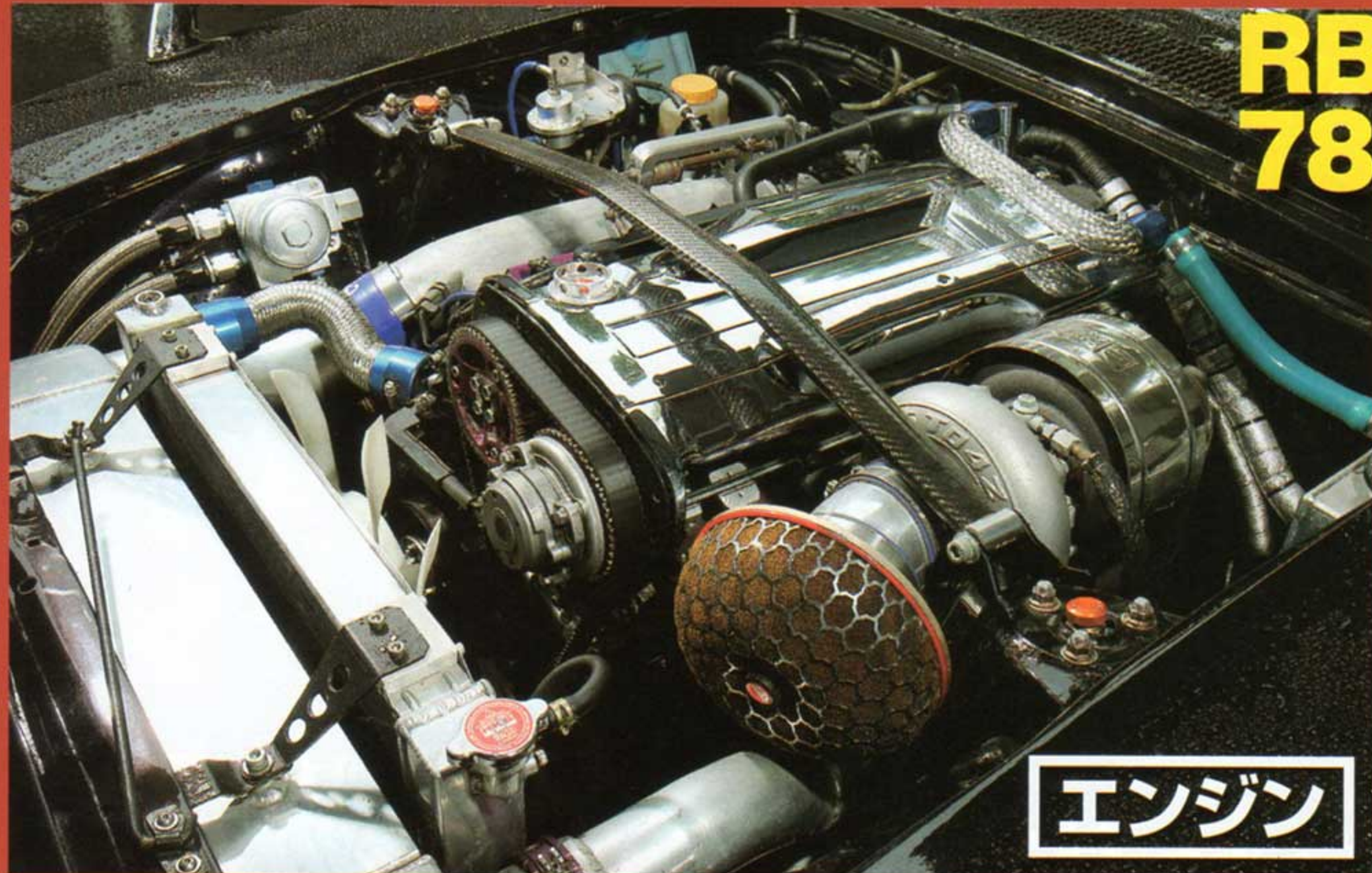
石川編集長



特徴のあるクルマばかりのロッキーオート
 見せるだけでなく、乗って赤裸々に感想を言つこのコーナー、難しい言葉で誤魔化さず誰にでもわかりやすい言葉で試乗したクルマの印象をみんなに伝えるこのコーナー、今回も愛知県岡崎市にあるロッキーオート。旧車に最新スポーツ系のエンジンを搭載、それだけでなくエアコンやパワステなどの快適装備も移植し、現代でも普通に乗れる旧車というジャンルを開拓して躍有名になったのは、みんなもご存知の通り。近頃というトヨタ2000GTのレプリカ、トヨタ2JZの3リッターエンジンを搭載したトヨタ3000GTでも世間を沸かせた。今回は前回同様、S30系に最新エンジン系を載せた車両に乗ったけど、前回のVQとはガラッと変わったチューンド系です♪

S30のやりたいと思う理想形を詰め込んだ!!
 前回試乗させてもらったVQ35搭載のS30もなかなか興奮する車だったけど、今回乗るRB26改3.4はさらに興奮してしまつて内容のクルマというかマシン。外観も大人しめだけどただならぬオーラというか、渋さというかS30のカッコよさをさらに引き立てた感じで、シートもダットサンバケットという凝りようだ。

早速、エンジンを掛けるためキーをひねると今時のC/P制



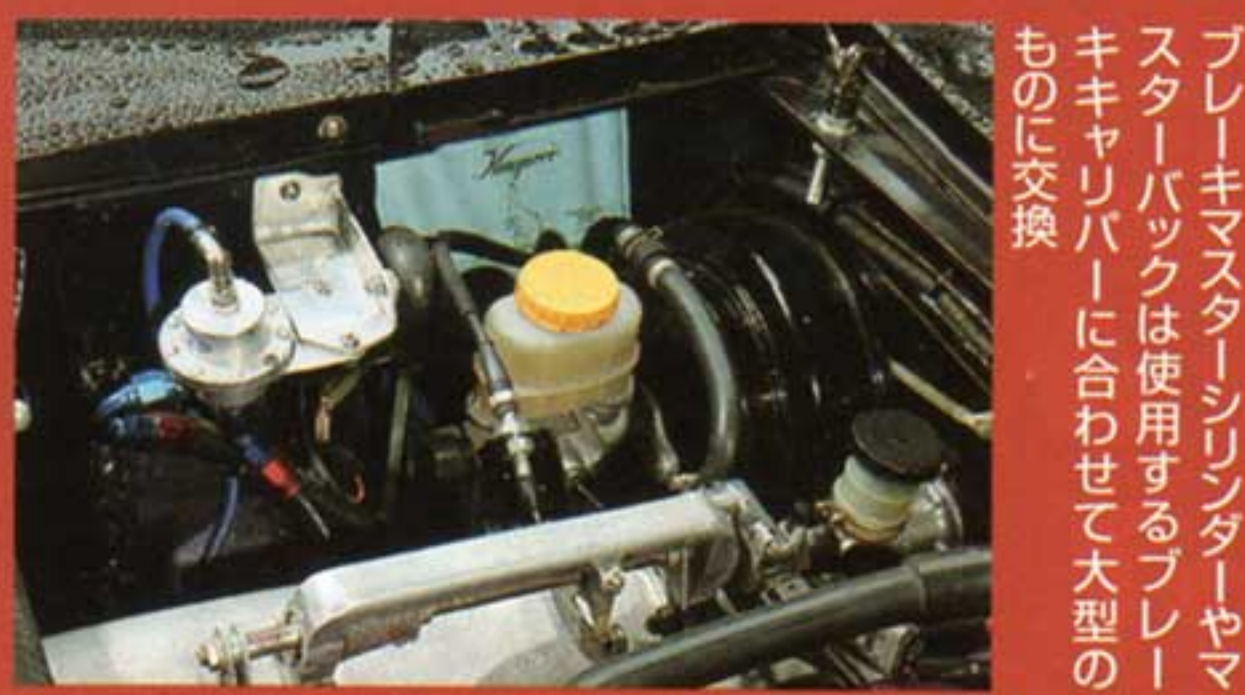
RB34DET搭載。 780ps!!

エンジンRB26でスペシャルクランクとピストンで3.40化してC/PはHKS V-Proを使用し、タービンはHKS T04Z。エンジンパワーはブースト1.9k時に780psを発揮するというモンスター



ラジエターはアルミのサイドタンク式、インタークーラーはパイピングを最短にしたGT-Rサイズ。オイルクーラーは輸出仕様のグリルの後ろに取り付けている

エンジン



ブレーキマスターシリンダーやマスターバックは使用するブレーキキャリパーに合わせて大型のものに交換



RB26は4輪駆動用なので、オイルパンを加工して2駆用にしている



ロッキーオートの フレームワーク

こちらはフロント周りでも大型のものに交換されている。特にストラットケースあたりには重点して補強しているのがわかる

前期ではフロア途中、後期ではフロア後端までしか伸びないフレームは大きいものに作り替えられ、しかもリヤサスペンション近くまで伸びているのでかなりの剛性UPが期待出来る

リヤロアアームはマナティ製のものに交換。フロントも同様にマナティ製のロアアームに交換し、剛性とピロによる正確性を確保している。ドラシャも強化タイプ



あえてマルチリンクなどを使わずノーマル形式の足回りにこだわりつつ、リヤのストラットケース付近にはこのようにパイプ等で剛性UP

フロントフェンダー後端、ドア前部分もこのようにパイプを使って剛性というが、フェンダーの取り付け精度的なものの強さを増す。S30系の弱いところを知り尽くしている感じだね



ロッキーオート

愛知県岡崎市
小美町字殿街道153
Tel 0564-66-5488

中身はR32GT-Rで外観はまんまケンメリ、トヨタ3000GT、旧車に最新エンジン&快適装備と話題に事欠かないロッキーオート。ショールームや相談スペースも(予約制)。毎年、ポートメッセ名古屋で行われるオートレジェンドも、横浜銀鯉等のアーティストとクルマ展示など来た人を飽きさせない演出。今年も9月に行われるからみんなも仲間を誘って行こう!!G-ワークスもブースを出すからね♪



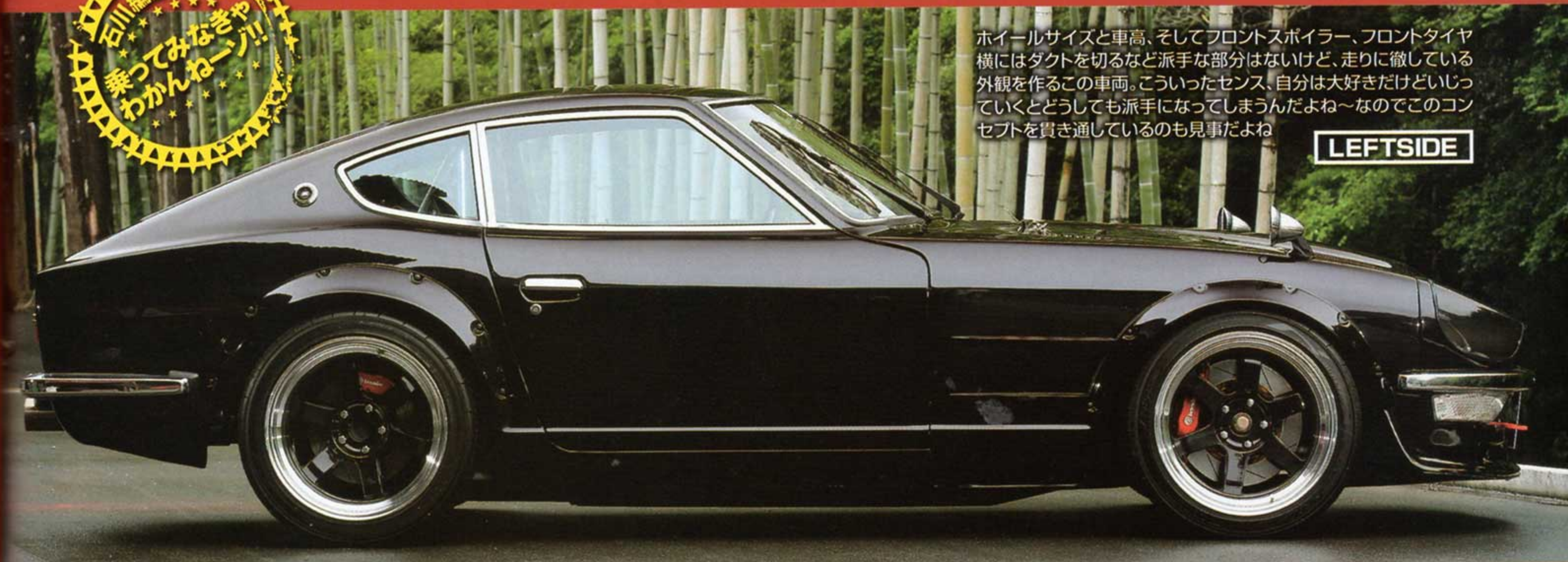
REAR

オリジナルパーツをつまみ使いながら、本格的なオリジナルカラーをメインとしつつ、安全カラーのイエローと見える演出のリヤビュー



FRONT

R35のエアダクトが取まったカーボンボンネットはボディ同様に塗装。頼んで請求額を聞いてびっくりしたという塗料はR35GT-Rのハイパールのブラック。普通の塗料の10倍近かったという



LEFTSIDE

ホイールサイズと車高、そしてフロントスポイラー、フロントタイヤ横にはダクトを切るなど派手な部分はないけど、走りに徹している外観を作るこの車両。こういったセンス、自分は大好きだぞといっけいとうとうも派手になってしまおうんだよね~なのでこのコンセプトを貫き通しているのも見事だよ

ホイールは前後17インチレイズTE37Vのボディ同様に塗装。前215/45、後255/40のアドバンセオバ。フロントブレーキは2ピースローターの17インチフルサイズ。ブレンボキャリパーでリヤもディスク化されていて駐車ブレーキ別体のブレンボ。これ以上ないというくらいの組み合わせ。フロントが細く、リヤが太いのも走っている証



REARタイヤ



FRONTタイヤ

2JZの3.40とはまた違ったトルク感というか、RB26の排気量アップらしいトルク感だった。どういふことかというところ排気量でドカンと力がある感じではなく、高回転までの繋がりがあるトルク感という感じで、上まで回したくなる感覚。その理由は圧縮比だったりストロークやボアの大きさなどからくるんだらうけど、よりエンジンを感して楽しめる排気量UP的で、好感の持てるもの。タービンの選択やセッティングで更にその特性を引き上げている感覚がありました。

さすがに路面も濡れていたのが高回転キープですと走るとてことはできなかったもので780psのインプレは残念ながらもできなかったけど、そのパワーを感じさせないというか車体と足回りのバランスの良さがかなり高いことに気がついた。フロントの接地感が非常に高く、轍にも取られない好印象で、後でサイズを確認したら215サイズだっつてもこの車のハンドリングに良い結果をもたらしている。リヤサイズもオーバーフェンダーサイズギリギリの255サイズで、変に滑ったりしないからアクセルワークさえ気を使っていればこいつた路面でも怖さを感じずに走れるのは、セッティングの恩恵以外何者でもない。設定が悪いとどこに行くかわからない車になつてしまつたらね。

ブレーキも秀逸でコントロールも容易でガツンと踏む効いてくる。強く踏んでもロックしにくく(コントロールできるという意。強く踏めばそりゃロックします)、ノースダイブもいい感じでリヤもきちんとして仕事している。いや、ここのチューニング車を走らせるだけでも大変なのに、ここまで仕上げているのには恐れ入る。普通は足回りだけとかエンジンチューニングしただけでもバランス崩しちゃう

車が多い中、RB26を搭載し足回りもすべて見直しそしてフレーム補強を行っているというクルマをこの領域まで持つていくのは至難の技。だからできちゃっているのがすごいです。

よくここまでのパワーが必要ないとかスベックだけとか言う人もいるけど、ここまで完成されたものに乗ったことがないからいうんじゃないかな、と思う。タイヤのグリップの限界を超えたスベックだから、そりゃ当然だけどそうなる結局、みんな一般市販車みたいになつてしまつてたからね。正論を言う人はチューニングカーの醍醐味がわからない人です、ハイ。

間違いなく、強心臓をコントロールしている感覚が最高に楽しいし、乗っていて心が豊かになるというかニヤリとしてしまつたのは、車を趣味としている人にとつて目指すところではないか?そんな気持ちにさせてくれるクルマがこの車両、いやマシンです。

21世紀究極のクルマ改造本! G-works

ジーワークス



トルクフルな800馬力GT-R

G-works

旧車 定番仕様

2016
10
定価: 580円

ハコスカ編

Skylines

を知る!



G-works
100冊目!
記念号!!



有名ショップ協力&当時モノ?
パーツプレゼント!!



458 チャレンジ vs

サンマルくん式号機!



スカイラインRS

祭り



佐世保・アゴタンレーシング